

# 有害プランクトン情報

(令和4年度 - No. 5)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	8月 第1回	内湾 (8地点)	8/2	内房 (7地点)	8/2
		8月 第2回	内湾 (8地点)	8/17	内房 (7地点)	8/22
		8月 第3回	内湾 (8地点)	8/31		

## 東京湾(内湾)

### 【有害プランクトンの出現状況】

- カレニア ミキモトイがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
  - ・ 8/2 船橋沖 密度は0.05 細胞/mL
- カレニア ミキモトイ以外のシャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
  - ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を发出します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) は第1回調査で確認されました。
  - ・ 8/2 内湾北部 (浦安沖) で発生。珪藻 (シュードニッチア属, タラシオネマ属, リゾソレニア属) と渦鞭毛藻 (ケラチウム属) の混合赤潮

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
  - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
  - ディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
    - ・ 8/2 千葉沖 密度は0.05 細胞/mL
  - 貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## 東京湾(内房)

### 【有害プランクトンの出現状況】

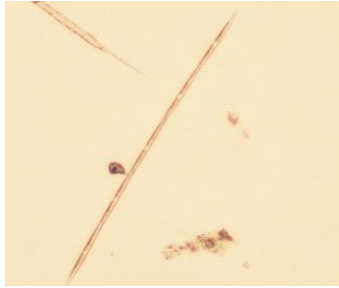
- 有害プランクトン (シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属) は、いずれも確認されませんでした。
- 赤潮は確認されませんでした。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

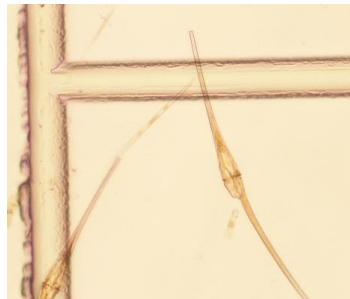
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
  - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
  - 確認されませんでした。
  - 貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

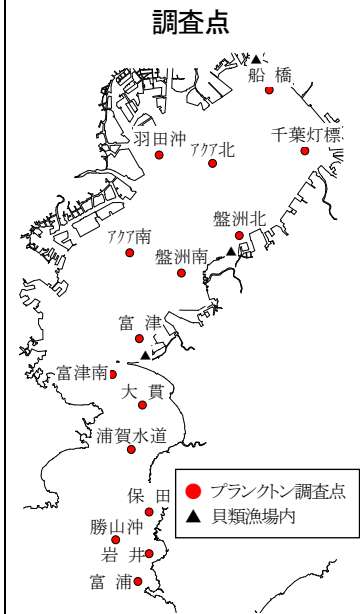
8/2	内湾・内房	珪藻タラシオネマ属, シュードニッチア属, 渦鞭毛藻ケラチウム属など
8/17,22	内湾・内房	珪藻シュードニッチア属, 渦鞭毛藻ケラチウム属, プロロセントラム属, など
8/31	内湾・内房	珪藻シュードニッチア属, キートセロス属, 渦鞭毛藻プロロセントラム属, など



シュードニッチア属  
(8/2 富津沖)



ケラチウム属  
(8/2 富津沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp